

## 研究に係るインタビュー調査ご協力のお願い（研究概要）

### 1. 調査の趣旨（目的・概要）

本研究は、「緊急やむを得ない場合の身体拘束の対応をめぐる実施までの判断プロセス」というテーマにて調査を進めております。特養における身体拘束の取り扱いについて、「緊急やむを得ない場合」として認められている例外3要件（緊急性・非代替性・一時性）の判断プロセスがどのように行われ支援方針が決定しているのか、介護現場の職員間の判断プロセスを探るなかで、その実態と課題を明らかにすることが本研究の目的です。

### 2. インタビュー対象者と概要

対象条件：特別養護老人ホームに勤務し「緊急やむを得ない場合」の身体拘束について判断するカンファレンスにおいて、当該利用者の状況を把握し会議の旗振り役（主宰）を担う専門スタッフ（施設ケアマネ・生活相談員・介護職など）

人数：5施設ほど（1施設あたり1名）、合計5名程度

概要：インタビュー時間は概ね30～60分以内で、介護業務のご都合に合わせてます。

時期：2022年11月1日～2023年1月31日（概ね）

場所：オンラインによるインタビュー調査

### 3. 本調査における倫理的配慮

インタビュー調査で得られた貴重な回答は、研究知見としてまとめ、職員様に貢献できる内容をご提示して参ります。また、貴法人・施設及び職員様の個人情報が特定されることが無いよう、データはすべて暗号化を施し、不利益が生じないように徹底します。本調査への協力は任意ですので、調査中であっても回答を拒否することもできます。調査への協力が得られないとしても個人や事業には何ら影響がないことも堅く保障いたします。

「※この研究は、健康科学大学研究倫理委員会の審査承認を得ています」

### 4. 本調査へご協力いただける施設様（協力者様）

ご協力頂ける施設様は10月25日頃までに、富山県老施協事務局様へご連絡をお願い致します。ご協力の連絡を頂きました施設様（調査協力者様）へは、改めて梅沢よりご連絡させて頂き、事前にインタビュー内容をお伝えし、調査日の打合せをさせて頂きます。

コロナ禍で多忙の折にお手数をおかけ致しますが、極力ご迷惑がかからないよう配慮いたしますので、前向きにご検討のほど、よろしくお願い致します。

#### ●研究内容についてのお問合せ先

健康科学大学健康科学部 梅沢佳裕

■電話：090-6787-7500（梅沢専用）

■メール：fukuken35ume@gmail.com